

# かもがわ 議会だより

平成28年(2016年)

11月15日

第47号

発行 鴨川市議会報編集委員会

〒296-8601 鴨川市横渚1450番地 電話04(7093)7825

ホームページアドレス <http://www.city.kamogawa.lg.jp/>



## 第3回定例会の主な内容

- 決算の状況…………… 2
- 議案質疑…………… 4
- 議案に対する討論…………… 5
- 常任委員会の審査内容…………… 6
- 一般質問…………… 9
- 議決結果・賛否の公表…………… 16
- 中学生だより…………… 18

## ドリームサッカー(2016年10月2日)

男子サッカー元日本代表選手からなるドリームチームと鴨川市選抜チームとの親善試合が陸上競技場で開催されました。



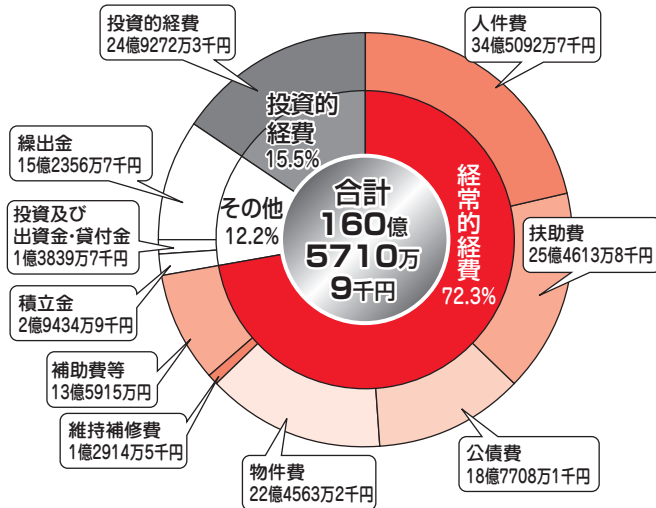
**マチイロ**  
マチを好きになるアプリ



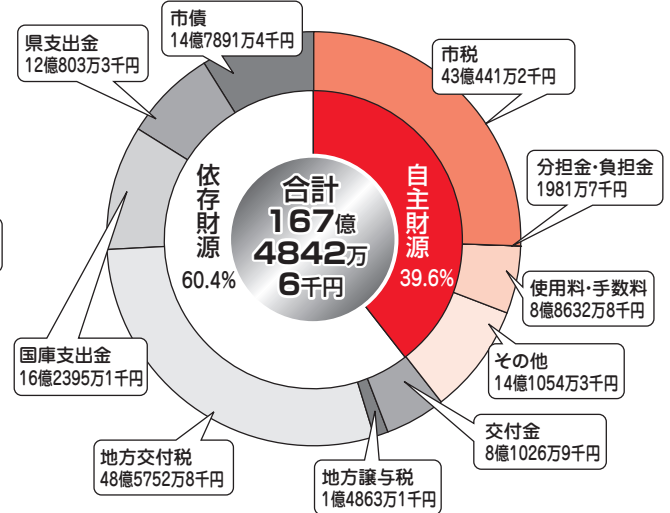
# 耐震改修工事が完了しました!!

## 平成27年度一般会計決算

### 歳出



### 歳入



### 主な歳入 財源

( )内は対前年度

#### 地方交付税

行政運営を行うため国から交付されるお金

**48億5752万円8千円**  
(+4748万1千円)

#### 市税

市民税や固定資産税等の税金

**43億441万2千円**  
(-6390万円)

#### 国・県支出金

国、県が負担するお金

**28億3198万4千円**  
(+4億2406万5千円)

#### 市債

事業等に充てるために借り入れる借金

**14億7891万4千円**  
(-18億3388万5千円)

#### 分担金・負担金・使用料・手数料

事業に対する地元負担金や施設使用料など

**9億614万5千円**  
(+4億3284万5千円)

#### 交付金

国が交付する財政援助資金

**8億1026万9千円**  
(+2億5592万8千円)

### 一般会計市債借入残高の推移

平成27年度	194億3208万3千円
平成26年度	187億1435万6千円
平成25年度	179億276万4千円

※鴨川市財政事情の作成及び公表に関する条例に基づき公表されている各年度の3月31日現在の金額より抜粋。

### 一般会計基金残高の推移

平成27年度	49億3476万2千円
平成26年度	49億1181万2千円
平成25年度	55億2546万7千円

※各年度の決算書より抜粋。

# 全ての小中学校校舎・体育館の

主な歳出

使いみち

( )内は対前年度

## 民生費

・自立支援給付事業  
5億9057万8千円  
・生活困窮者支援に要する経費  
5億109万7千円  
**54億2187万9千円**  
(+8億213万5千円)

## 総務費

・太海多目的の公益用地取得事業  
3億6409万6千円  
・電算維持管理事業  
9498万8千円  
**25億8449万5千円**  
(-14億6163万3千円)

## 教育費

・小学校建設事業  
2億8188万円  
・総合運動施設および社会体育施設の維持管理  
2億636万5千円  
**20億5841万9千円**  
(-6億8744万6千円)

## 公債費

・市債元金償還金  
16億5720万8千円  
・市債利息  
2億1987万4千円  
**18億7710万7千円**  
(-1億9001万2千円)

## 衛生費

・し尿処理施設維持管理費  
2億533万3千円  
・予防接種事業  
5435万4千円  
**13億5056万1千円**  
(+9431万1千円)

## 土木費

・市道整備事業(繰越分含む)  
1億9440万1千円  
・社会資本整備総合交付金事業(繰越分含む)  
1億3412万4千円  
**8億2091万4千円**  
(+1722万5千円)

## 消防費

・防災行政無線施設維持管理事業  
2531万7千円  
・災害対策事業  
886万1千円  
**7億4155万5千円**  
(+1053万9千円)

## 農林水産業費

・県営かんがい排水整備事業  
1億2151万3千円  
・有害鳥獣対策事業  
5836万1千円  
**5億2016万1千円**  
(+4685万7千円)

## 商工費

・観光振興事業  
9473万1千円  
・プレミアム付き商品券発行事業  
6400万円  
**4億5360万4千円**  
(+4258万9千円)

## 議会費

・議員報酬、職員給与、活動費など  
2億1804万7千円  
**2億1804万7千円**  
(+972万5千円)

## 災害復旧費

・土木施設補助災害復旧事業(繰越分)  
909万円  
**909万円**  
(-6566万7千円)

## 労働費

・臨時職員賃金  
(ふるさとハローワーク職員)  
124万6千円  
**127万7千円**  
(-39万6千円)

## 平成27年度決算状況

会計別		歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計		167億4842万5620円	160億5710万8797円	6億9131万6823円
特別会計		97億3930万8569円	94億8570万5453円	2億5360万3116円
内訳	国民健康保険特別会計	52億4788万7834円	51億365万3197円	1億4423万4637円
	介護保険特別会計	40億9217万7088円	39億8535万8761円	1億681万8327円
	後期高齢者医療特別会計	3億9924万3647円	3億9669万3495円	255万152円
合計		264億8773万4189円	255億4281万4250円	9億4491万9939円

会計別		歳入決算額	歳出決算額	差引額
水道事業会計	収益的	14億3628万2666円	13億7611万4587円	6016万8079円
	資本的	658万8000円	3億7321万4459円	-3億6662万6459円
病院事業会計	収益的	7億455万7896円	7億6553万5143円	-6097万7247円
	資本的	1060万3000円	2238万2615円	-1177万9615円

# 平成27年度決算など19議案を可決

## 9月定例会

平成28年第3回定例会は、9月2日から9月29日までの28日間の会期で開かれました。この定例会では、市長から提出された18議案と議員提出の1件の発議案は、全て原案のとおり可決・認定・答申されました。また陳情1件は、審査した結果、採択となりました。9月7日・8日には、7名の議員が登壇し、市政全般に関する一般質問を行いました。

9月9日には、佐藤和幸議員・滝口久夫議員・川崎浩之議員・刈込信道議員・川名康介議員・福原三枝子議員・佐久間章議員・久保忠一議員が議案に対する質疑を行いました。

### 議案に対する質疑

◎議案第43号 鴨川市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について

**問** コンビニ等で証明書  
の交付を受けるためには  
通知カードではなく個人  
番号カードが必要か。

**答** 個人番号カードが必要  
である。

**問** 初期の導入コストと  
導入後の維持コストは。

**答** 平成30年度までは、  
導入に係る経費に対し、  
上限5千万円、2分の1  
の特別交付税措置がある。

また当初3年間の運営費

も対象で、実質的な負担  
額は平成28年度は160  
9万4千円、平成29、30  
年度はそれぞれ389万  
3千円の見込み。

**問** コンビニ交付サービ  
ス導入後の窓口業務の縮  
減等の考えは。

**答** 状況を見た上で、市  
民サービスの低下になら  
ないよう検討する。

◎議案第47号 調停の申  
立てについて

**問** 4年前に福祉セン  
ターで起きた事故だが、  
過失割合7対3はどのよ  
うな保険会社の報告書が

あるのか相手方に示した  
のか。

**答** 市が契約している保  
険会社が過失割合を示し、  
相手方に口頭で説明した。

**問** 調停に対する市の姿  
勢は。

**答** 相手方と円満な解決  
を図るため、双方が十分  
に納得するような話し合  
いをし、賠償額を決めら  
れるよう、慎重かつ丁寧  
に対応したい。

◎議案第48号 平成28年  
度鴨川市一般会計補正予  
算(第2号)について

**問** 介護ロボット導入促  
進事業補助金による介護

ロボットの導入費用およ  
び台数は。

**答** 介護老人保健施設た  
いようが、センサー付介護  
ベッド3台、135万27  
00円。特別養護老人ホー  
ム千の風・清澄が、腰補  
助用マッスルスーツ2台、  
99万8800円。訪問介  
護事業所ライフサポート  
鯛の浦が、腰補助用マッ  
スルスーツ1台、83万7千  
円。国の助成限度額が92  
万7千円で、差額は事業  
所負担となる。

**問** 3事業者しか希望し  
なかつたのか。

**答** 6事業者が導入の意  
向を示したが、国の内示  
が3事業者のみであった。

**問** 今後の介護ロボット  
導入に対する考えは。

**答** 当面は、効果や介護  
現場のニーズを踏まえ、本  
事業が継続されるよう  
であれば、取り組んでいく。

**問** 商工会共同広告、協  
働イベント賑わい創出事  
業の具体的な内容は。

**答** 地場商品や魅力ある

サービス等を宣伝する共  
同広告と、市内の参加店  
舗を回遊するスタンプラ  
リーを開催するもので、  
ポスターやチラシ、ウェブ  
ページの整備を行う。また、  
スマートフォン等モバイ  
ル端末向けに、地元商品  
等の情報を提供するため、  
商工会のウェブサイトの各  
事業者のページを拡充す  
る。

**問** 包括的支援体制構築  
事業の具体的な内容は。

**答** 最も高齢化率の高い  
長狭地区をモデル地区と  
して、国保病院をはじめ  
とする医療、社会福祉関  
連機関のほか、農業や教  
育関係機関等との連携を  
図りながら行う。がんや  
難病等の医療が必要な方  
や生活困窮者への就労支  
援、相談者が抱える課題  
の把握とともに、支援プ  
ランの作成、関係機関と  
の連携調整等を行う事業  
である。

医療、福祉分野をはじ  
め、多機関に精通した専

門性の高いコーディネートが可能なら市内の福祉関係法人に委託する。

**問** 日蓮聖人ご降誕800年観光客誘致事業の実施主体は。

**答** 鴨川市観光協会（天津小湊支部）、小湊温泉組合、鴨川温泉旅館組合、鴨川市商工会、観光施設・誕生寺、鴨川市観光プラウトホーム等による観光客誘致委員会を設置予定。事務局は観光協会で、宗教的なものに関しては誕生寺単独で委員会を組織する。

**問** 実施計画と実施方法は。

**答** ご降誕800年を迎える日の2年前から多くの参拝者が見込まれる。本市の魅力在全国に発信する絶好のチャンスと捉え、パンフレットを作成し、来年1月より北海道から九州まで大手旅行会社への訪問セールス、商談会を実施する。

また、観光キャラバン

も実施し、市内の周遊プランなども併せて提案し、観光客の誘客に向けた活動を実施する。

**問** ふるさぽーと寄付金は、寄付者が使途を8項目の中から指定できるが、目的別寄付金の内容は。

**答** 左表のとおり。

ふるさぽーと寄付金（目的別）	件数	金額	単位	（8月末現在）
快適で暮らしやすい交流拠点のまちづくりのために	48件	353万	円	
環境と調和した安心・安全のまちづくりのために	77件	295万	円	
活気あふれ人が集う産業のまちづくりのために	35件	170万	円	
ともに学び未来を育む教育文化のまちづくりのために	80件	293万	円	
一人ひとりがいきいきとした健康福祉のまちづくりのために	43件	263万	円	
みんなが主役となる協働・自立のまちづくりのために	12件	54万	円	
その他（具体的な使途を示す寄付）	49件	1117万4千円		
特に使い道を指定せず、市長に一任	239件	1428万2千円		
合計	583件	3953万6千円		

**問** 鴨川市第2次総合計画や第3次5か年計画に沿った単独事業以外は、ふるさぽーと寄付金の6割を、その事業に充てるという考え方でよいか。

**答** 本市のふるさと納税の返礼品に係る割合はおおむね4割としている。基本的には計画に関わる事業かどうかに関わらず、全額を寄付者の意向を尊重して活用すべきと考える。



**◎議案第52号 平成27年度鴨川市水道事業会計の利益の処分及び決算の認定について**

**反対 滝口久夫議員**

9月7日の本会議での私の発言に問題があると、議会運営委員会が開かれたが、問題はないとの結論であった。問題がある

といわれた情報は水道運営委員会の報告と聞いているが、8月4日の委員会の会議録を確認したところ、その事実は全くなかった。これは水道運営委員会の信用を失墜させる言動ではないかと思われ、市長の委嘱の責任も重大である。よって、本議案に反対する。

**◎認定第1号 平成27年度鴨川市一般会計歳入歳出決算の認定について**

**反対 滝口久夫議員**

箱物市政が突出し、福祉、暮らしの市政がおろそかになっているのではないかと。また、東京オリンピック・パラリンピック鴨川市対策推進本部のサーフィンスポーツ大会誘致ののぼり旗は、はためていたが、今ひとつ市民に対する啓発運動に欠け、認識が低かったと思う。パラリンピックについても同様で、障害者施設を住民の理解が得られない等で新たな財政負担を

するなど、パラリンピック精神と共有できない行為と言わざるを得ない。よって、本議案に反対する。

**賛成 川崎浩之議員**

西条小学校校舎と田原小学校の屋内運動場改修事業が実施され、文部科学省の示す実施期限である平成27年度末までに市内の全ての学校施設の耐震化が完了したことを高く評価したい。また、オリンピック・パラリンピック競技の招致に向けたキャンプ受け入れ事業やサッカー会場整備事業も実施し、その一方で、企業立地や雇用促進に向けた取り組み、農林水産業の生産基盤拡充支援、インバウンドを取り込む観光施策の展開など、今の課題を的確に捉えた事業が展開されたと考えられる。なお、歳出削減と歳入を増やす取り組みを一層推進し、健全な財政運営を図るよう要望し、本議案に賛成する。

# 常任委員会の 審査内容

各常任委員会に付託された議案の審査内容の主なものを掲載します。議案等の名称については16.17ページをご覧ください。

## 予算常任委員会

### ◎議案第48号

**問** 教育・保育施設障害児等受入促進事業補助金の現状と今後は。

**答** 本補助金は、認定子ども園OURSが対象となるものである。現在は20名程度の受け入れだが、今後は入園者数の増加や障害児支援の充実とともに、その比率は高くなっていくと考えている。

**問** 市営および県営漁港の安全確保の状況と、今回の台風9号、10号の被害状況は。

**答** 県営漁港については、

南部漁港が対応している。また、市内の漁港では、台風によるゴミや流木等の漂着や撤去はなかったと聞いている。

**問** 四方木観光トイレ設置工事の概要は。

**答** 清澄、四方木地区へハイキング等で訪れるお客さんは、四方木のふれあい館のトイレを現在使っている。

今回、同地区の活性化協議会の要望により、県の補助事業を活用し、女性用1基、男女兼用1基の観光トイレを2カ所に設置する。

**問** 観光客誘致イベント事業と着地型商品開発の内容は。

**答** 大手旅行会社への訪問セールスや商談会に200万円、パンフレット・ポスターの作成に380万円、新聞等の広告宣伝に120万円、合計700万円の事業費を予定している。

着地型旅行商品として

は、2泊3日、3泊4日のコース提案や、市内での飲食・宿泊等を組み合わせたモデルコースを複数提案していきたい。

**問** 天津小湊分遣所の移転候補地の状況は。

**答** 候補地について、県の建築主事と法律的な見地、周辺の地形等を協議確認した結果、建築は可能との結論であった。

## 決算常任委員会

### ◎認定第1号

**問** ふるさぽーと寄附金額の状況は。

**答** 謝礼品の大幅な見直しと金額に応じたコースを設定したところ、10万円未満の件数が1・78倍となったのに対し、10万円以上は15・28倍の107件と、高額な寄附が増えた。10万円以上の寄附は、10万円39件、20万円36件、30万円3件、50万円17件、100万円7件と、15万、40万、60万、70万、200万円が各1件である。

**問** 謝礼品の費用を一般会計から支出せず、寄附金から取り崩す考えは。

**答** 寄附金が大きくなればなるほど、一般財源の負担は大きくなる。財源の配分は、今後検討する。

**問** 市税の滞納金に対する差し押さえの状況は。

**答** 26件で約1251万円。内訳は、不動産2件、預貯金8件、給与4件、所得税還付金6件、保険関係6件である。

**問** コミュニティバスの利用促進取り組みの成果は。

**答** 鴨川市公共交通マップの作成・配布、公共交通の乗り方教室の開催、モビリティマネジメントを実施した。さらにデマンド運行も開始した。

**問** デマンド運行の利用者数は。

**答** 開始した6月から9月までの上半期で、256回運行の見込みが68回の利用、下半期は、380回運行見込みが、実際

は68回だった。  
**問** 幼保連携型認定子ども園施設整備費補助金の事業報告や決算報告の状況は。

**答** 実績報告書と、補助対象事業の区分別収支計算書や領収書の写し等を、市が審査し、確定した。

**問** 不法投棄監視員の資格や監視頻度は。

**答** 監視員は各地区の推薦によって任命する。原則、市内19の区域を月2回巡視する。

**問** 不法投棄監視員による報告件数と処理状況は。

**答** 電気製品14件、家庭系一般ごみ8件、家庭系粗大ごみ14件、事業系粗大ごみ9件、建設廃材8件の合計53件。

撤去物は、市の清掃センターや広域の粗大ごみ処理施設で処理し、処理できないものは民間処理業者に委託する。

**問** 有害獣防護柵設置事業補助金における設置状況や件数は。

**答** 市の補助制度では、電気柵、電気ネット柵、電気複合柵、電気金網柵、合計8件で2750m。

**問** 経年劣化した柵の交換は、補助対象となるか。

**答** 8年経過した電気柵も国の補助対象となる。

**問** その場合の要件は。

**答** 資材支給および受益者施工が原則であり、要件は、獣害発生耕作地、受益農家3戸以上、費用対効果分析が1・0以上、わなと柵の一体的な整備、施工後の緩衝帯の整備継続などである。

**問** シャトルバスを活用した宿泊客誘致対策事業の今後の取り組みは。

**答** 関係団体が協働・連携した中で、リピーターの増大に向けては、観光情報を希望する方のリスト化を行い、発信する。

新たな誘客に向けては、北関東や甲信地域をターゲットとしたツアーの造成や商品開発、情報発信に努める。

また、宿泊、観光スポット、食、特産物等を組み合わせた情報を発信し、市内回遊率の向上、滞在時間の延長、消費金額の増加を図る。

**問** プレミアム商品券発行支援事業の概要と成果は。

**答** 事業主体は鴨川市商工会であり、主に市民が市内で使用可能な商品券にプレミアムを付して発行・販売する事業に補助金を交付する。

決算額に対する補助割合は19・73%。大多数は日常的な買い物に利用され、新規の消費誘発効果は弱かった。

**問** 住宅リフォーム補助金の経済効果は。

**答** 176名に約2927万円を交付し、対象工事費は約3億4681万円。市内事業者の活性化など、相応の経済効果があった。

**問** 本補助事業については継続要望の声が多いが。

**答** 本市では、住宅耐震化率を平成32年度に95%にすることを目標としている。

本年度から、耐震改修工事等と同時に費用の一部リフォーム工事に費用の一部を補助している。

**問** 安房郡市広域市町村圏事務組合負担金・常備消防費が約6億円と、前年度比1割増となった原因は。

**答** 鴨川消防署耐震改修、和田・白浜分遣所移転に係る事業の開始など全体的な額の増加に伴い、負担金が増額した。

**問** 工事請負費、ホース乾燥棟設置工事費約111万円は高額ではないか。

**答** 工事費に火の見やぐらの撤去費も含まれている。

**問** 家庭教育指導員設置事業は、いつから、どのように行っているのか。

**答** 合併前から継続、推進しており、家庭教育上の悩みを持つ保護者に対

象に、面接、電話相談などを実施している。

また、保護者の自主的学習サークルへ参加し、助言や資料提供などの支援に努めている。

**問** 工事請負費、サッカー場改修工事の1億7664万4800円の財源は。

**答** 改修工事費のうち、日本スポーツ振興センター・totoの助成金5440万円、スポーツ振興基金からの繰入金1500万円、市債としてサッカー場整備事業債8270万円を充当し、人工芝や夜間照明等の工事を行った。



リニューアルしたサッカー場

**問** 成川運動広場の利用

がゼロとなった理由と対策は。

**答** 主な利用団体であった地元団体が活動をやめたためである。

対策としては、スポーツ推進審議会で土地の返却を含めた意見もあり、今は地主や地域の方々と協議、検討する。

**問** 学校医報酬、学校薬剤師報酬について、学校医、薬剤師を統合して経費の抑制を図れるか。

**答** 学校医、学校薬剤師の配置は、学校保健安全法第23条に基づくものであり、統合が可能かどうかは確認したい。報酬は、鴨川市条例に基づき、学校ごとに支出している。

幼小中を兼任している学校医もあり、平成28年度、長狭学園は1名減となり、抑制を図った。

### 総務常任委員会

◎議案第46号

**問** 消防団の消防ポンプ車2台の更新とのことだ

が、消防ポンプ車の配備状況と今後の更新計画は。

**答** 消防団の消防ポンプ車は全部で33台。今回の更新は第2支団第3分団と第4支団第2分団の消防ポンプ車で、一番古い平成9年式。第2支団第1分団1部と第4支団第3分団も平成9年式だが、この4台のうちの老朽化の激しいものを2台選び、更新した。来年度は残りの平成9年式を2台、その後は古いものから2台ずつ更新していく。

**問** 走行距離は少ないと思うが、どこから傷み、支障を来たすのか。

**答** おおむね20年で更新しているの、20年経つと車体がさびてくる。また、ポンプは火事がなくても試運転等で磨耗する。

◎議案第47号

**問** 後遺症の結論が出た後で、調停に入ったらいかがかと思うが、いつから調停に入るのか。

**答** 本議案が可決された

後、10月以降になると考えている。後遺症と言われていている部分も、調停の中で調整する。相手方の円満な解決に向けて合意に達していければと考えている。

建設経済常任委員会

◎議案第52号

**問** 年間有収水量が減少の一方、年間総給水量の増加の理由は。

**答** 漏水のほか、管洗浄、施設管理用水、水質基準確保用捨て水が考えられる。

**問** 老朽管更新状況は。

**答** 財源確保に主力を置き、必要最低限としている。

**問** 未処理老朽管の現状は。

**答** 耐用年数40年を超えている管は全体(381km)の20・2%(77km)、うち、石綿管は6・8%(26km)。

**問** 建設改良工事のための財源確保の見通しは。

**答** 企業債償還ピークの

平成34年を見据え、状況により対応したい。

**問** メーター周辺機器の事故が多いと聞くが問題点と整備状況は。

**答** 計量法による義務期間の8年以内に交換している。また、漏水に関しては検針時に住民の方へ通知し、止水栓を境に家側は住民の方の対応となる。修繕状況は平成26年度349件、平成27年度142件である。

文教厚生常任委員会

◎議案第43号

**問** コンビニ交付サービスには、個人番号カードが必要だが、現在のカード申請数は。

**答** 8月31日現在、本市のカード交付申請件数は



個人番号カード

3451件で、このうち交付済数は2791件。人口に対する申請率は9・89%である。

◎議案第45号

**問** 子育て支援センターを廃止し、その機能を総合福祉会館や認定こども園、市立こども園に移管することだが、条例等の整備の必要は。

**答** 条例は本廃止条例のみだが、今後、事業の実施に伴い、規則の整備が必要である。

◎認定第2号

**問** 国民健康保険の広域化が平成29年度から平成30年度実施予定と先送りとなったが、平成27年度決算を踏まえた中で、平成29年度の予想は。

**答** 現状からの予想は、歳入は保険税が、歳出は医療費が大きく関係する中、平成28年度の決算見通しは繰越額が1億7千万円程度、また平成29年度は5500万円前後の繰越額という推計である。

◎認定第3号

**問** 低所得者保険料軽減繰入金について、介護保険料の改定に伴う65歳以上の低所得者に対する国の介護保険料軽減強化事業の対象者数は。

**答** 対象者は、生活保護受給者、あるいは老齢福祉年金受給者で世帯全員が市民税非課税の方、また世帯全員が市民税非課税で前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下の方で、実績では2261人だった。

◎陳情第12号

**問** 安房医師会の難病を担当する公衆衛生理事の参考意見は。

**答** 現在、線維筋痛症は診療報酬の得られる医療保険対象で、医師の診察と疼痛治療薬の処方が行われているが、専門医も少ない中、医学的な見地からの診断が難しいケースもあり、指定難病となれるかどうかは一概には言えないとの意見を伺った。





誠和会

佐々木久之議員

**生涯食育社会の充実に**

**問** 18歳未満の一人親家庭の世帯数は。

**答** 児童扶養手当の受給資格者数で、平成23年度は306名、24年度は304名、25年度は298名、26年度は279名、27年度は283名と少子化に伴い減少傾向である。

**問** ことども食堂<sup>※</sup>の取り組み状況は。

**答** 衛生管理や利用者を限定することが難しく、貧困の子どもが行く場所というイメージがハードルとなるなど、都市型の支援である。本市で、どのような形態が実施可能か調査研究が必要と考えらる。

生活困窮世帯等の子ども

**問**

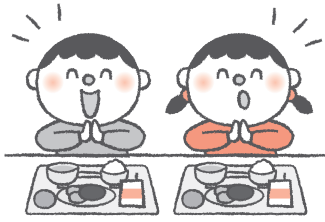
「子ども食堂」への取り組みを

「食」に対する支援の方法を検討する

**答**

もへの生活支援は、本年11月から試行的に取り組み予定である。概要は、

小学校4年生から中学3年生までの5人程度を対象に、学習基盤を整え生活習慣を含めた学びの場や信頼できる人の存在を知る機会をつくり、市内のNPO法人に事業を委託する予定である。



**問** フードバンクにおける食品等の回収協力は。

**答** 本年度6月に鴨川市社会福祉協議会が食品を回収し、個人14名と3団

体から協力いただいた。

**問** 子どもたちへの食事の提供と各種団体との連携は。

**答** 生活・学習支援の取り組みと関連付け、検討する。また生活困窮世帯の自立支援の観点から、年間を通じた取り組みの可能性を検討する。

**学校における安全対策について**

**問** 組体操の実施状況は。

**答** 小湊小学校を除く7小学校と、中学校では長狭学園のみの実施。10段ピラミッドのような危険性のあるものは実施していない。校長の責任の下で組織的な指導体制を構築し、児童生徒の体力等の状況を踏まえて指導を行うこと、活動に応じた

安全対策を確実に講じていること等、再度指導した。

**問** 組体操での事故件数は。

**答** 平成26年度は小学校で1件、平成27年度は小学校で2件、今年度は長狭学園が終了していないが1件の報告がある。1件はヒビの入るけが、その他はいずれも軽傷。組体操での事故は気を抜いた状況であれば補助倒立等の簡単な技でも起こる。

児童生徒の習熟の状況を正確に把握し、その状況に応じた活動内容や指導計画を適時適切に見直すこと、練習中に負傷する事故が発生した場合、速やかに原因を究明し活動内容を見直し、さらなる安全対策を講じるなどの措置を徹底し事故防止

に努めている。

**問** 体力・運動能力調査の状況は。

**答** 文部科学省が毎年実施している新体力テストの結果がこれに相当し、本テストは筋力・筋持久力・柔軟性・敏捷性・全身持久力・走力・跳躍力・投力の8項目を分析している。平成27年度の調査結果は、千葉県データと比較し小学校では学年により若干の項目の違いはあるが、各学年ともほぼ県平均と同等の結果である。中学校では学年により差はあるものの県平均とほぼ同等である。

注1 子ども食堂とは、経済的理由や、一人親で食事の支度がままならないなど、さまざまな事情を抱えた子どもたちに無料や低価格で食事を提供する場所。



日本共産党  
滝口 久夫 議員

**水道事業について問う**

**問** 市と袋倉導水道使用料年額300万円の契約の根拠を明らかにする添付書類が鴨川市文書管理規程に反しないが、公文書開示結果については、一市民も市長も共有するものであり、根拠のない事柄に憶測と推測で答弁したのであれば、市政にとって重大な瑕疵で、契約時の根拠の添付書類が一切ないことは、公金を違法に支出した疑いが持たれる。

**答** 積算根拠を示す書類は添付されていないが、契約書の正当性に何ら問題は無い。

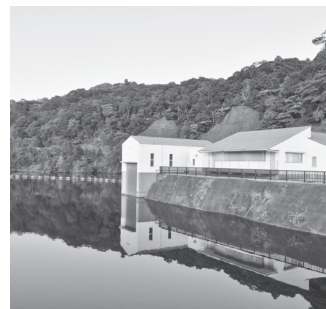
**問** 市と東条土地改良区の経緯だが、昭和36年に水利権として年額2千円

**問** 契約の正当性は。根拠に基づく公金の支出が必要

**答** 積算根拠はない。契約の正当性は何ら問題ない

の契約をし、現在も継続。平成2年に袋倉導水道使用料として年額300万円の契約が結ばれ、平成11年保台ダム完成で上水のみ使用となった。平成14年の定例会の会議録に、地元負担分は償還額と同額を補助金で補填とあるが、次年度には負担金と変更された。補助金は流動的で削減や廃止ができるが、負担金は強制力があり、法的な根拠が必要で、補助金と負担金では大きな違いがある。これまで市が補填してきた、また補填していく総額は、昭和58年から平成37年で、約36億4800万円となる。全額市民の税金から支出され、1世帯25万円の負担である。

**答** 水源開発が急務の市



保台ダム

の水道事情で、圃場整備事業が県営事業として検討されて、平成11年に保台ダムが完成し安定給水が可能となったが、建設費用については71%を農業用水の事業負担、29%を水道事業で負担、建設に伴う地元負担分は市が代位しているが理解されていると思う。

**意見** 平成2年の契約の年額300万円は平成元年度に予算化されず決算だけの計上になっているが、監査請求に値するものではないのか。また、前定例会の一般質問の副市長の答弁で「おとしめる発言は控えていただきたい」とのことだが、質問の趣旨は事実関係を明らかにすることであり、東条土地改良区の皆さんをおとしめることではなく、発言が制限されるのであれば、議会制民主主義の否定である。市民が躊躇することなく意見を発言できる包容力を持った市政を願うものである。水道事業の現況は、他会計から2億円を繰り入れ、県から2億円の補助、企業債から4千万円の補填、内部留保資金は10分の1の1億9千万円と大幅な減少となっている。基幹産業は最重要だが、負担が多大で厳しい水道事業

の現状で、袋倉導水路使用料は見直す必要に迫られていると考える。

**買付物支援について問う**

**問** 小湊地区で2軒の八百屋さんが廃業したが。

**答** 高齢化で買付物、通院等の移動困難な人が増えている。共助、共生の観点から、モデル事業で生活支援サービス利用促進を図る取り組みを大山、江見地区で行ってきた。大山地区では、店舗で買付物をし、自宅までの送迎を無料に、江見地区はサポーターが必要な買付物をして届け、1回200円のチケットを必要とし、モデル事業実施期間後も継続している。地域特性に応じ、取り組みを進めていきたい。



公明党

福原三枝子議員

シティプロモーション

**問** シティプロモーションとは、持続的な発展のために地域の魅力を創出し、内外に効果的に訴求し、顧客の欲望をつくり、人材・物財・資金・情報を地域内部で活用をしていくことだが、取り組みは。

**答** 市民の皆さんと共通認識した上で、主体的に関わる協働による取り組みを推進していくことが求められる。  
**問** これを推進するには。  
**答** 広報・広聴機能により、得ることができると情報・データ共有・活用する、いわゆるマーケティングの視点で効果的なシティプロモーションに繋げていく。

人口増の政策について

**問** ①地域おこし協力隊2名の活動状況は。

**答** 地域の一員として、道・水普請といった共同作業や祭礼等への参加、空き店舗等を活用して観光案内・移住者受入整備、土産品の開発、フェイスブック等を活用して情報発信を行っている。

**問** 今後、他地域への配置は。

**答** 清澄・四方木地区の取り組みや、その効果等を検証し、必要性を含め検討する。

**問** ②婚活支援事業の活動と成果は。

**答** 平成25年11月の初回から今日まで9回のイベント開催で、延べ468名が参加し、成立したカップル106組のうち、2組が成婚している。昨年度からは、成立したカップルを結婚相談員が支援し、結婚が期待できるカップルも複数ある。また、「みんなで育て鯛まちづくり支援事業」の2団体が行っている婚活イベントは7回の開催で、延べ228名が参加し、成立した49組のカップルのうち、2組が成婚している。

**問** 今後の対応は。

**答** 多様な魅力ある婚活イベントやセミナーなどの開催、専用ホームページの開設等、結婚相談員・民間・行政が連携し、より一層の結婚支援に取り組む。

**問** ③移住希望者の状況は。

**答** 昨年度の移住希望者

シティプロモーションの構築を！

地域の魅力・価値を高め、取り組みに努める

からの相談等は、延べ748名で、内訳は、ふるさと回帰支援センターへの直接来所者が70名、電話・メールが206名、首都圏出張相談ブースが219名、空き家等見学会が253名。

移住者に対する住宅取得奨励金の交付件数は、制度開始の平成23年度から5年間で55件。

**問** 今後の対応は。

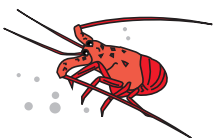
**答** ふるさと回帰支援センターを市役所内へ移転、ホームページの再構築、空き家バンク制度の創設を実施する。

漁業を核とした観光資源の提案

**問** 日本で唯一の太海工ビネット会の漁法と、画家を魅了した太海の景観を

観光資源として活用してはどうか。

**答** 昔ながらの綿糸の網を使ったエビ網で水揚げされたイセエビは、商品としての付加価値とともに、地域の大切な資源であり、ブランド化を図れば観光客誘致の魅力につながる。また、千葉県指定名勝の仁右衛門島を含めた太海漁港周辺地域は、古くから波太と呼ばれ、多くの画家を魅了してきた海岸風景である。中でも安井曾太郎画伯が描いた「外房風景」は、絵画史上に残る名作と評価されている。これらの資源を再認識し、磨き上げ、観光関連団体などと連携し魅力発進に努める。





誠和会  
川名 康介 議員

**問**

新公会計制度の導入による市民の利点は、財政の透明性を高め、わかりやすい情報提示が可能

**答**

**新公会計の活用でより民間に近い財政把握を**

**問** 新しい公会計制度(以下、新公会計)の導入で、今までの会計制度はどのように変わるか。また、市民の利点は。

**答** 新公会計では、「新しい統一的な基準」による財務諸表の整備を行う。この財務諸表は、固定資産台帳の整備と発生主義会計による複式簿記を原則としたもので、今までの現金主義会計・単式簿記を補完する役目を果たす。新公会計導入によって、大きく3つの利点がある。

第一に、固定資産台帳の整備等を行うことで、今まで見えづらかった資産と負債の透明性を高め、

わかりやすくし開示できること。

第二に、その情報を資産・債務管理、費用管理に有効活用し、財政運営に関するマネジメント力を高め、財政の効率化・適正化を図れること。

第三に、他の地方公共団体と同じ基準の会計であるため、比較が容易となることである。

**問** 新公会計導入への現在の進捗状況と今後のスケジュールは。

**答** 平成27年度には、財務書類の前提となる固定資産台帳の整備を実施し、完了した。28年度では、財務会計システムの更新手続きをし、29年度の予算編成から新たな財務会計システムを稼働させる予定である。

**資産・債務管理の透明化と事業の費用対効果の提示のために新たな財務指標導入を**

システムの構築・稼働ができたとして、自動処理できない仕訳の解決や連結財務書類作成のための会計間取引の調整など、課題もあるが、28年度の決算を基準とした財務書類を29年度中には整備する計画である。

**問** 新公会計は現状の把握と分析を容易にする方法である。分析の方法として新たな財務指標の算定が可能となるが、具体的な指標と活用方法は。

**答** 全ての指標は、客観的数値に基づいて算出される。例えば、資産老朽

化比率という指標は、本市の保有する施設が、他の地方公共団体と比較して、どれだけ老朽化しているのか、あるいはどの施設から老朽化対策を行っていくべきなのかなどの判断に用いる。

住民1人当たり資産額という指標や歳入額対資産比率といった資産形成度に係る指標は、資産の適正規模等の判断ができる。

その他、事業別・施設別の行政コスト

計算書を試算することとで、直営の場合と民間委託の場合との比較が容易になる、中長期的なコスト分析によって、予算編成に活用していくことなどが考えられる。

関連して、固定資産台帳を活用した公共施設等

総合管理計画により施設の統廃合の検討を行うこと、施設の維持管理経費や減価償却費等を考慮したコスト分析に基づく使用料・手数料の見直しなどにより受益者負担の適正化を図るなど、多岐にわたる活用を考えている。





誠和会

佐久間 章 議員

市民表彰制度について

**問** 政治、経済、文化、社会その他各般にわたって市政振興に寄与し、または市民の模範と認められる行為があつた者を表彰するとしているが実施状況は。

**答** 鴨川市表彰条例および鴨川市名誉市民条例に基づき顕彰しており、新市誕生後は、第65回国民体育大会ならびに第10回全国障害者スポーツ大会で優勝した戸部選手と秦選手に市民栄誉賞を、剣道団体の部で優勝した熊切選手に市長特別賞を、平成23年1月4日に贈呈した。

また、平成27年1月には市制施行10周年記念式典で、各分野で功績のあつ

た26名の個人と5つの団体をたたえ顕彰した。

また、人命救助等をはじめとする善行や篤行については、随時、市長感謝状を贈呈している。

**問** 表彰者の選考は区長等や団体等の公募によるものか、その基準は。

**答** 受賞者の選考にあたっては、その都度、要領を定め、内部の審査会による審査を経て決定している。市政功労表彰は各課が業務で把握しており、表彰者の選考は依頼しなかった。スポーツ功労表彰は全国大会での優勝を条件としている。

**問** 表彰式を毎年開催することについて、どう考えているか。

**答** 表彰者の皆さんに最大限の敬意を表したいと

問 答

市民表彰制度の現状と定期表彰式の実施は

周年記念行事として実施して来たが検討したい

の考えから、周年記念行事において功労者をたたえ周知してきたが、近隣市の状況を踏まえ、定期表彰を実施する方向で検討をしていく。



10周年記念式典

定住化政策について

**問** ふるさと回帰支援センターの機能強化はどのように行うのか。

**答** 平成19年10月に主基地区に開設し、移住相談の専用窓口を設け、事業

を行ってきたが、本年、農水商工課内に「都市農村交流係」を設け、既存事業の強化と充実した相談体制を構築するため、センターの市役所内への

移転に併せ、ホームペー

ジの再構築や空き家バンク制度を創設する。

**問** 移住希望者へ田舎暮らし体験施設と、空き家の改修に対する補助制度の創設を提案するが。

**答** 提案された制度は、空き家の利活用の方法として空き家バンク制度と関連付け実施している自治体もあり、大変有効なものを受け止め、ぜひとも検討したい。

特定空き家対策について

**問** 特定空き家に対する取り組み状況は。

**答** 空家等対策の推進に關する特別措置法の施行により、昨年度は、空き家等の基礎的調査を行い、443戸の位置情報の把握をした。

本年度は、外観目視による現地調査を行い、不良度や利活用の可能性判定を行い、台帳にて整理・管理する。

**問** 老朽化した空き家に対する取り組み状況は。

**答** 現地調査を行い、通行に危険を及ぼす場合は、道路管理者により安全対策を行った後、空き家対策特措法により、固定資産税務情報や不動産登記情報等により、所有者やその相続人等について把握し、電話や訪問、郵送により、説明や指導、補修・解体をお願いしている。



議員 代朋 庄司

地方創生事業について

**問** 「海辺のまちづくりプロジェクト」関連の海辺の魅力づくり検討委員会の委員や進捗状況は。

**答** 観光協会、商工会、漁業協同組合、温泉旅館業協同組合、城西国際大学観光学部、鴨川ライフセービングクラブ、周辺観光施設、移住者、行政、サーフィン関係者、スポーツを通じて健康づくりを推進する団体等、18名の委員構成。

8月に委嘱し、コンサルティング業者を交え、おおむね月に一度の会議で、前原・横渚海岸周辺の新たな利活用に向け具体的な検討を進め、年度内には計画を示す。市民

問 答

サーフィン会場招致活動は市民参加の成果があった。今後は活動は12月まで継続。海辺のまちづくりは市民ファーストで

を交えたシンポジウムや市内大学対象のシンポジウムを開催し、市広報紙やホームページを活用した意見募集も行う。

**問** 方向性は。

**答** 本事業は、フィッシュアリーナから東条海岸に至るまでの一帯の再整備、利活用と併せて、周辺地域の商業機能の活性化等も含む。

従って、単なるイベントではなく、年間を通じての魅力の増進を図っていくもので、まちづくりの観点で取り組む。

**問** 東京オリンピックピックのサーフィン会場招致活動

はサーフィン経験のない市民も賛同し、海辺のまちづくりの成果があったと思うが、「知事は会場予定地に一宮町釣ヶ埼海岸

が決まったと発表」と報道された。会場の正式発表は12月だが、今後の招致活動はどうなるのか。

**答** 夏のトップシーズンの宿泊対応という課題もあり、仮に一宮町に決定した場合を想定した活動も展開すべきではないか。

**問** 招致委員会は、正式発表までではできないことをやっていきたいとの意見で、定期的な会議を予定している。

**答** 今後の大会でも「サーフィンのまち鴨川」を発信したい。また、正式決定により、招致委員会の名称はなくなり、会場になるか、ならないかで活動も変わるが、東京オリンピックピック・パラリンピック鴨川市対策推進本部として継続して連携していきたい。

海辺のまちづくりにつながる。一宮町に視察に行き、町長と担当者に招致活動のポイントを尋ねたところ、オリンピック委員会

**問** 一宮町に視察に行き、町長と担当者に招致活動

のポイントを尋ねたところ、オリンピック委員会は選手を第一に考えているとのことだった。選手が希望する波、有明の選手村からの距離、移動の負担。選手が良い状態でこそ良い試合ができ、観客も満足できるといふ考え、アスリートファーストだった。

**答** 本市の海辺のまちづくりは、市民ファーストか。

**答** 市民ファーストである。市民全体で策定した市民全体の計画を実践することが重要。構造的なところにも着手し、市民が主役で活躍できる舞台をつくる。市民ファースト

の結果が観光や商業に繋がる。

**問** 実効が長期にわたるプロジェクトを進めて

ただきたいと考えるが。  
**答** オリンピックのサーフィン開催はハードルが高いかもしれないが、オリンピック・パラリンピックに関連して、いろいろな競技が本市に関われば良い。ソフトボール、自転車競技にも取り組んでおり、ずっと先まで継続したい。日本

本のトップアスリートの合宿は長期継続

けてもらえると利点を当てる。視点を当てる。視点を当てる。



前原横渚海岸



佐藤 和幸 議員

**自然環境を活かし、  
守るまちづくり!!**

**問** 昨年度から今年度にかけて見直し予定としていた「一般廃棄物処理基本計画」について、人口推計、ごみ排出量の見直し状況と新たな目標は。

**答** ごみ処理広域化事業が用地取り扱いの問題発生で停滞したため、計画の見直しに至っていない。事業再開に合わせて3市1町足並みを揃えて見直し、人口やごみ排出量の推計等も精査した上で、改めて広域ごみ処理施設の規模等を計画していく。

**問** 清掃センターで焼却されている一般廃棄物の家庭系、事業系の割合は。

**答** 平成26年度の実績で、可燃ごみ1万2760ト

**問** **答**

**現在焼却されているごみの中で資源化可能なものは特に割合の高い雑紙ざつがみの資源化を早速進めていく**

ンのうち、生活系ごみ7329トン、事業系ごみ5431トンで、率は生活系ごみ57%、事業系ごみ約43%となる。

**問** 本市の資源化の取り組み状況は。

**答** 本市のごみの排出は12種類に区分しており、空き缶、空き瓶、ペットボトル、古紙、古着、乾電池、白色トレイと発泡スチロールの7種類を資源ごみとして分別している。平成26年度の主たる資源化率は、空き缶約120トン、空き瓶約320トン、ペットボトル約120トン、古紙800トンとなり、本市で処理しているごみの量の18.8%になる。

**問** 焼却ごみの中で、紙・布類に続く割合を占める

生ごみ類の資源化、減量化も積極的に進める必要があるが、各家庭で自主的に減量化に取り組んでもらうためにも、本市で取り組んでいる生ごみ処理機等の購入補助について周知・普及を進めるだけではなく、減量化に関心を持ってもらうために、コンポスト等の実証実験をし、仕組みや効果等を紹介する取り組みが必要だと考える。

普通のコンポスト

	普通のコンポスト	バクテリアdeキエーロ	なぜそれで大丈夫?
ふた	虫の侵入や臭いもれを防ぐため、普段は密閉	隙間があるため密閉しない	ごみを深めに埋めておけば臭いがせず、虫が寄ってこない。さらに側面の隙間からすぐに出て行く
日当たり風当たり	臭いがこもりすぎないように、時々ふたを開けて日や風を当てる	基本的に何もしなくて大丈夫	透明なふたが太陽光を、側面の隙間が風を通し、土の表面はサラサラ。この土が嫌なにおいを防ぐ
生ごみの水分	虫がわくため、よく切る	切らなくてもいい	バクテリアの活性化には水分が必要。ごみを深めに埋めるため、虫がたかる心配もなし



コンポスト等の実証実験を受け、生ごみの堆肥

**問** コンポスト等に関して、より積極的な実証実験、モデル事業の提案を受けたが、生ごみの堆肥

された、神奈川県三浦郡葉山町の「キエーロ」と呼ばれるコンポスト等を、市庁舎やすでに関心のある世帯に導入し実証実験を進めるモデル事業の実施を検討できないか。

**答** コンポスト等に関して、より積極的な実証実験、モデル事業の提案を受けたが、生ごみの堆肥

化にはさまざまな方法がある。事業者を含め、市民には、まずは生ごみの堆肥化自体になお一層取り組んでもらうため、改めて周知を行い、その中でさまざまなアイデアも紹介していきたい。

**問** 海水浴場運営について、路上駐車やごみの投棄の問題が見受けられたが、駐車場誘導員等の今後の増員の可能性は。

**答** 駐車場の混雑解消のため誘導員の配置等の対応をしたが、特に城崎海水浴場は連日満車となり、天津ポートパーク前の市道の路上駐車が多く、近隣住民にご不便を掛けたことから、来年度は天津ポートパーク前にも誘導員を配置し、路上駐車等の解消等に努める。

# 定例会議案等議決結果

## 【市長提出議案】

議案番号	件名	付託先委員会	委員会の審査結果	本会議の議決結果
議案第 43 号	鴨川市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	可 決	可 決 全会一致
議案第 44 号	鴨川市福祉作業所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	可 決	可 決 全会一致
議案第 45 号	鴨川市子育て総合支援センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について	文教厚生	可 決	可 決 全会一致
議案第 46 号	物品購入契約の締結について(消防ポンプ車 2 台)	総 務	可 決	可 決 全会一致
議案第 47 号	調停の申立てについて	総 務	可 決	可 決 賛成多数
議案第 48 号	平成28年度鴨川市一般会計補正予算(第 2 号)	予 算	可 決	可 決 全会一致
議案第 49 号	平成28年度鴨川市国民健康保険特別会計補正予算(第 1 号)	文教厚生	可 決	可 決 全会一致
議案第 50 号	平成28年度鴨川市介護保険特別会計補正予算(第 2 号)	文教厚生	可 決	可 決 全会一致
議案第 51 号	平成28年度鴨川市後期高齢者医療特別会計補正予算(第 1 号)	文教厚生	可 決	可 決 全会一致
議案第 52 号	平成27年度鴨川市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	建設経済	可決及び認定	可決及び認定 賛成多数
諮問第 3 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	付託省略		答 申 賛成多数
諮問第 4 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	付託省略		答 申 全会一致
諮問第 5 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	付託省略		答 申 全会一致
認定第 1 号	平成27年度鴨川市一般会計歳入歳出決算の認定について	決 算	認 定	認 定 賛成多数
認定第 2 号	平成27年度鴨川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	文教厚生	認 定	認 定 全会一致
認定第 3 号	平成27年度鴨川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	文教厚生	認 定	認 定 全会一致
認定第 4 号	平成27年度鴨川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	文教厚生	認 定	認 定 賛成多数
認定第 5 号	平成27年度鴨川市病院事業会計決算の認定について	文教厚生	認 定	認 定 賛成多数

## 【議員提出議案】

発議案番号	件名	付託先委員会	委員会の審査結果	本会議の議決結果
発議案第 16 号	難病・疾病対策の充実を求める意見書について	付託省略		可 決 賛成多数



**【報 告】**

報告番号	件 名	付託先 委員会	委員会の 審査結果	本会議の 議決結果
報告第5号	平成27年度鴨川市の健全化判断比率について			
報告第6号	平成27年度鴨川市水道事業会計の資金不足比率について			
報告第7号	平成27年度鴨川市病院事業会計の資金不足比率について			
報告第8号	専決処分の報告について（損害賠償の額の決定及び和解）			

**【陳 情】**

陳情番号	件 名	付託先 委員会	委員会の 審査結果	本会議の 議決結果
陳情第12号	難病・疾病対策の充実に関して国等への意見書の提出を求める陳情書	文教厚生	採 択	採 択 賛成多数

**賛否の公表** 上表の議案等（全会一致のものを除く）について、議員別に賛否を公表します。○・・・賛成 ×・・・反対

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	結 果	賛 成	反 対
	佐藤和幸	川名康介	佐々木久之	川股盛二	川崎浩之	佐久間章	福原三枝子	渡邊仁	刈込信道	久保忠一	脇坂保雄	庄司朋代	佐藤拓郎	平松健治	鈴木美一	野村静雄	滝口久夫	渡辺訓秀	辰野利文	大和田悟史			
議案第47号	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	可 決	16	3
議案第52号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	可 決	18	1
諮問第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	答 申	18	1
認定第1号	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	-	認 定	16	3
認定第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	認 定	18	1
認定第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	認 定	18	1
発議案第16号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	可 決	18	1
陳情第12号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	採 択	18	1

※ 議長（大和田悟史）は表決に加わりません。

**「i 広報紙」が「マチイロ」へ アプリを大幅リニューアル**

議会だよりや広報かもがわがスマホで読める無料アプリ「i 広報紙」が、「マチイロ」へと名称が変わり、内容もリニューアルしました。9月15日から、一度ダウンロードした広報紙を通信なしで読むことができるオフライン閲覧機能や、新着情報を知らせるプッシュ機能などが追加されました。「i 広報紙」をご利用いただいている方は、アップデートによってアプリが「マチイロ」に変わりますので、新しくダウンロードする必要はありません。問い合わせは議会事務局〔TEL 04-7093-7825〕へ。

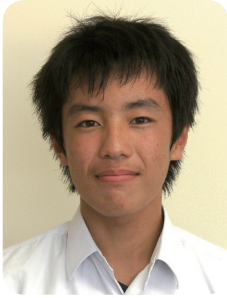


こちらを読み取り、アプリをダウンロードしてください



# 中学生 だより ②

このコーナーでは、市内の中学生の日ごろ感じていることや将来の夢などを紹介します。鴨川市議会は、そういった思いを後押ししていきます。



鴨川中学校  
3年  
吉田 凌さん

## 夢にむかって

台風が千葉県に上陸した8月22日、僕は全国中学生総合体育大会に出場していました。そもそも、僕が陸上競技を始めたきっかけは、小学校6年生で参加した市の競技会でした。走り高跳びで2位となり、中学校に入学して、いつか全国大会に出たいという夢を持ちました。日々の辛い練習を積み重ねていくうちに、記録が伸びていきました。標準記録を突破し、全国大会に出場が決まったときは、夢が叶ったと喜びでいっぱいでした。しかし、そこからは、良い記録を出さなければと思えば思うほど、プレッシャーで思うようになりません。関東大会も全国大会でも、思い通りの記録を残すことはできませんでした。だからこそ、自分の弱さや課題が見えてきました。そして、高校でも頑張りたいという新たな夢が生まれました。



長狭中学校  
3年  
永井 杏奈さん

## 総体を終えて

私たち長狭中女子剣道部は、去年の夏から「千葉県制覇」を目標に稽古に励んできました。正しい剣道を目指し、どんな学校よりも長い時間、厳しい練習をしてきたと思います。そして今年の夏、その努力が実り、団体戦「千葉県制覇」を達成することができました。自分の目標であった個人戦、県大会三連覇も達成できてうれしかったです。関東大会では、団体戦敢闘賞、個人戦準優勝、全国大会では団体・個人共にベスト16と、悔いを残さず終わることができました。私達がここまでできたのは、仲間や先生、保護者の方々などたくさんの人の支えがあったからです。感謝の気持ちを胸にこれからも頑張っていこうと思います。

# 市議会を見る

次の定例会は

**12月2日(金)**

開会予定です

市役所



議場にて

しっかり

1番のおすすめは、議場の傍聴席。団体・グループでの傍聴もできます。また、議場にて議案等の貸し出しを行っています。

市役所

1F 市政情報コーナーにて

気軽に

正面玄関から入ってすぐ左手。モニターで生中継がご覧になれます。

身近に

## ご家庭や公民館で

ご自宅のパソコンで、議会審議の様子がライブ中継と録画中継でご覧になれます。

鴨川市議会

検索

いつでも

## 会議録の閲覧

過去の会議録は、市議会ホームページや図書館、公民館でご覧ください。

平成28年第3回定例会の会議録は、11月下旬掲載予定です。

お問合せは議会事務局まで。

電話 04-7093-7825

FAX 04-7093-7848

## 議会報編集委員会

委員長	川名 康介
副委員長	佐藤 和幸
委員	大和田 悟史
	佐藤 拓郎
	脇坂 保雄
	福原 三枝子
	佐久間 章
	川崎 浩之

皆さんの傍聴もお待ちしております。

(佐藤 和幸)

編集後記